

# ザ・パスポート

次号目次

- 西川裁判の今 丸岡彦 2  
レバノン派遣報告 No.3 Hsi 4  
解放区 丸岡彦 6  
社会人1年生12回 吉村和彌 7  
イスラエル選挙と中東「和平」の行方 M島 8  
レバノン料理レシピ③ 吉村和彌 9  
5・30リツダ闘争27年を前にしつらうこと 曜月漫 10  
読者へのミニレター 丸岡彦 12  
SAIKAIくらいまっくす 獅子からアピール  
岩田由紀子 13  
丸岡彦 14  
公判・集会案内、会計報告 16

## THE PASSPORT

1999.5.9 No. 82

### 帰国者の裁判を考える会

〒105-0004

東京都港区新橋2-8-6石田ビル4F  
救援連絡センター一氣付

TEL 03(3591)1301

<http://www3.tky.3web/~sper/>

E-mail sper@tky2.3web.ne.jp

郵便振替 00120-2-398834

加入者名「帰国者の裁判を考える会」

年11回刊 定価200円 年間3000円

### 私たちの立場

- (1) 日本赤軍の思想と実践から区別された、自立的地点に立脚している。
- (2) 司法権力の攻撃に限らず、少数・異端の者を精神的・物理的に排除しようという方向に働く現代日本の社会状況とはあらゆる場面で対決し、これを変革するために努力する。

## 西川裁判の今

99. 4. 20 丸岡修

考える会の皆さんには5月の集いに忙殺されているので、西川純同志が受けている裁判の様子、情況を私の方から伝えます。

### 1. 西川同志の様子

97年11月にボリビアで拘束されてから1年5ヶ月。現在も東京拘置所で接見等禁止が続き、弁護人と家族以外の者とは一切交通が出来ず、印刷物の差し入れ等も禁止されたままです。私と同じくダッカ闘争への関与を彼も全面否認しているので、裁判所は不当な接禁を検察側立証が終わるまで続けるようです。ちなみに私は3年8ヶ月続いた。

そういう情況にありますが、弁護人によれば彼は極めて意気盛んで元気のことです。裁判の長期化、不当判決の可能性をも視野に入れ、長期戦を闘い抜く決意でいます。彼はダッカ闘争に無関与無実です。

彼もまた厳しい情況にあり、74年のハーグ闘争（在オランダ・フランス大使館占拠）関与を含めて、検察は私に対して同じく重刑攻撃を用意しています。

読者の皆さんに訴えます。

西川裁判への監視も御願いします。東拘での差し入れを通して励まして下さい。印刷物以外の物（郵券、食品、日用品等）は入ります。不況下で皆様も大変ですが、考える会あるいは救援連絡センターを通したカンパも可能でしたら、宜しく御願いします。

### 2. 2月公判の情況

2/19の公判傍聴をした知人の報告を紹介します。傍聴は先着順14名まで（狭

い法廷だ！）、考える会の人たちは入れず。他の公判傍聴抽選にははずれた人たちがなだれ込んでたりするところになります。私の公判でも新入り婦人警官の研修でなだれ込んできた一団があってムカつとしたことがあります。当時流行の「ワンレン・ヘヤー」が多く、異様でした（誰だ、「目の保養になっただろう」とオヤジ発言しているのは。セクハラだ）。

この日は検察側証人の主訊問（検察側訊問）でした。日航パイロットの澤田隆介。事件機に乗り合わせていた日航貨物機長交代要員。私の裁判にも登場した検察の切り札的証人。他の乗務員達は大体、「今被告人席にいる人が犯人ですか」という質問に対して、「10年以上過ぎているから、犯人とは思うものの断定は出来ない」と答えるのに対して（裁判所はそれだけでも犯人視するが）、この澤田だけは、「犯人に絶対間違ひありません」と言う。自分がどう答えれば検察が喜び、「赤軍の奴を懲らしめられるか」だけを考えている奴です。

以下、知人の報告要旨。

検事は証人に犯人Cの顔をどこで見て、どういう会話をしたのかという証言を積み上げておいて、犯人Cの相を言わせ、その後、被告人の相を言わせて、犯人Cは誰かと言わせていたそうです。

検事が「ハイジャック事件当時と現在の被告人を比べて違ってみえる点は何か」と聞くと、澤田は「顔の色艶が悪い。どこで何をしていたかは知らないが相当苦労した様子。ハイジャック当時の若い覇気があるような気がしない」と答えていた。「あんたにそんなこと言われる筋合いはないよ！」とは知人の言。それに、被告人の

顔色が悪くなるのは、日光を週に多くて1時間半（日にではなく週だ！）、少ないときは全く無しの獄中生活だから当たり前なのだ。

澤田に対して「覇気がない」ように見えるだけであって、いい加減なことを言うな！

いずれにせよ、知人によると「西川さんの公判は面白かった」ということです。

### 3. 3月24日の公判

（『ザ・パス』80号で3／19となつていたがそれは間違い）

上記証人澤田に対する弁護側による反対訊問が行われました。私自身は傍聴出来ないので弁護人に少し聞いただけですが、書いておきます。

澤田は私が西川弁護団に報告していたとおりの人物であったとのこと。とにかく検事が最も望むであろう証言は何かだけを考えながら証言していたのが見え見え。被告人を「犯人したい」がために、平気で新しい証言をするそうです。事件直後の澤田の供述調書、西川同志拘束後の同調書にもないことを平気でベラベラと喋る。だから証言が大きく矛盾するため弁護人がその点を澤田に指摘すると、澤田は「今証言していることが最も正しい」、「今正しく思い出した」などと強弁していたそうです。私の公判でも同じ。

澤田は西川同志を重刑にしたいと思う余り、今回の証言では「犯人Cが主導的役割を果たしていた」をしきりに強調していたそうです。「従犯」に描かれていたのをしきりに「主犯」に書き直していたとのこと。

これが検察側切り札の証人の姿です。

**最後に、弁護人からの要請。**  
出来るだけ一人でも多くの人が傍聴されるよう。

### 4. 次回公判は

5月11日（火）13：15～  
公判内容は救援の方に御尋ね下さい。  
私は聞きそびれました。反省。

### 5. 西川同志のこと

拘束時に少し書きました。私、浴田同志と同年。50年8月8日生まれ（ごめん、4月かも知れない）、大阪学芸大（現教育大）付属高から京都産業大。いわゆるブント（共産主義者同盟）。赤軍派分裂後は関西派。京都では底辺委員会などに参戻。74年に日本赤軍に参加。73年にギリシャ・アテネで軍事政権が学生に対する血の弾圧を行った時は現場に居合わせた。

特技・音楽。歌唱と演奏（ピアノ・ギターなど）はセミプロ級。郷ひろみの歌は当時の本人よりもうまく歌う。日本赤軍の歌で譜面があるのは彼の手による（作曲は別の同志）。もしかすると今流行の完全音感の持ち主。

得意料理は肉じゃが。私と初めて会った74年に作ってくれたのがこれ。うまかった。

好きな動物は猫。私も猫好きだが、彼はその上をいく。血液型はA型（私はB型、浴田同志はO型）。

趣味（？）は台所掃除。私は風呂と便所掃除だが、二人とも机の上は騒然。ハハハ。

### 6. その他

西川同志への差し入れ印刷物（図書、パンフなど）は考える会か弁護団の方に御送り下さい。

# レバノン派遣報告 No 3 Hsi

**実**に食欲旺盛な4人に日本食の差入れを続けていました。自分が日本に帰国しても、現地の炊き出し班が作れるように日本料理を教えたり、少しでも安く、そこにある食材で彼らがおいしく食べられるようにほとんど毎日料理の下準備に追われていました。日本に帰されてから、彼らの健康のこと、食事のことが一番気がかりだったので、この時とばかりはりきっていたのですが、後で冷静に考えて気づいたけど、自分の自己満足のために、現地の人たちにずいぶん忙しい思いをさせてしまいました。新聞ひとつ買うにも日本のように便利にできていないので大変なのに、来る日も来る日も彼らは肉、魚、野菜、SOYAソース(醤油)を求めてペイルート中駆け回ってくれました。

**給食**のおばさんがそろそろ献立のネタがつきてきた頃。(獄中に)一人づつリクエストを聞くと、なかなか返事が来ない。本人たちいわく、ちゃんと食べているから、そんな贅沢はできない。おれたちは獄中者なんだ……。確かにそうだけど、3年のうちほんの1カ月だけ、料理ができる環境を手に入れた親族がいるのだから、私のためだと思ってリクエストをちようだい!

何度も話してやっと答えが返ってきた。  
かつ丼、チャーハン、カレーライス、のり  
まき、おいなりさん、ぶりかけ、などなど。  
本当に給食メニューみたい……。やっぱり  
ご飯ものが多い。彼らの言いたいことはわ  
かるのだが、1週間に1度の差入れでは、  
4人分はどうしても足りない。いつも差入  
れ5日後くらいからは、少し若くて体の丈  
夫な和光さんと戸平さんが岡本さんと父に  
差入れ食を譲って、腐っていたり、虫や生  
煮えの肉が入っている油っこい獄中食を食

べています。時々お湯を貰えることがあるから、日本からカップラーメンなどのインスタント食品(レバノンにはインスタント食品はほとんど無い。インスタントは体に良くないが、やっぱり日本食はリラックスできて、特に岡本さんにとっては薬みたいなものです。)を定期的に送ってあげたい。せめて食事くらいはまともに食べていてほしい。

バノンはイスラム教の国というイメージが強いのですが、実際はクリスチャンが半分くらいいて、豚肉をおいでいるスーパーもあるし、中華料理や日本料理の食材も少しづつ増えてきています。そういうえば“SYOGUN（将軍）”という名前の包丁セットがテレビショッピングでしょっちゅう流れています。いきなり忍者の恰好をした人が出てきて、その“SYOGUN”で奇声をあげながら空缶や太い木の棒なんかを切りつける、けっこう流行っていてそんなに高くないから、使っている人がたくさんいた。でも、みんな「ショーガン」と呼んでいて、私の顔を見ると嬉しそうに「ショーガン」と言う。私も笑顔で剣道の真似事をしてそれに応えると、これがうける！ コミュニケーションの第一歩になります。そしていっしょに水煙草なんか吸って……、言葉がなくてもお互いを知ろうとする素直な部分が結びついて、ニッコリ。

いつも獄中にいる4人は、週に1度の  
差入れだから、暖かい食事があり  
食べられないで、いる間はなるべくでき  
たてを差入れるようにしていました。ある  
日、魚屋さんで新鮮な蟹が手に入ったので、  
ゆでてアツアツを抱えて面会に行きました。  
ところが差入れ物チェックの看守が、これ

は駄目だと突き返す。しようがないからチーフらしき人物を捜し、入れてちょうだい！と頼むと、困った顔をして、俺は蟹にはパーミッショն（面会、差入れの許可）を持っていないんだ。所長に蟹のパーミッションを貰ってこいと言われ、ホカホカの蟹を持って刑務所中を走り回り、所長室に面会に行った。偉そうなひげづらのおじさんたちにタッパの蓋を開けて、ゆでたてなんです。新鮮なんです。食べてみてください。笑いながらお願いしたけど駄目だった。所長さんも笑いながら、おいしそうだね、でも早く蓋を閉めてください、蟹は彼らの健康上良くないから駄目です、と言われた。多分ハサミやカラが固くて凶器になるからでしょう。でも、もし日本だったらニコリとも笑わずに、事務的に「許可できません」と言われておしまいでしょう。このユーモアのセンスというか、人間らしさが嬉しかった。

**失**果的に今回のレバノン滞在は1ヵ月~~不出~~でしたが、当初は2週間の予定でした。チケット代も馬鹿にならないし、せっかく入国できたのだから出来るだけ長くとどまりたいと考え、警察署や検察庁などを周り、やっと延長のG.O.サインが出ました。手続きをしに建物に入ると、ん？ 見覚えがある廊下だ、2年前自分が閉じ込められていた部屋や、その時使ったトイレ、シャワー室なんかも見えました。

**拘**束されているときは、自分がどこにいるのか、ここは何の建物なのかわからなかつたけど、何度も通ったことのある大通りに面した一般警察署でした。その時、在レバノン・日本大使館が私たちにしたことは、東京行きのチケットを突き付け、日本大使館1等書記官が出した帰国のチケット代借用書にサインするよう、レバノン当局者を通じて伝えてただけでした。もちろん私たちはサインしませんでした。2、3回同様のサインを求められ、拒否し

続けていたら、ある朝手錠をかけられ、車で空港に向かい飛行機に横付けして有無をいわさず乗せられました。飛行機が離陸するまで手錠もかけられたままでした。いつたいこの飛行機がどこ行きなのか、自分たちがどこに連れていかれるのかわからない、もちろんパスポートも手元にありませんでした。スチュワーデスに聞くと、この飛行機はロンドン・ヒュースロー空港行きで、私たちのパスポートは機長預かりになっていると言われました。

**9**5年の3月頭に私たちの不起訴が決まり、日本では釈放のニュースがあったようですが、ただ“部屋”が変わっただけで、“不起訴・日本に帰され組”は約1週間、一般警察署の、その見かけた部屋で過ごしました。窓ガラスが割れていて、血がこびりついて埃だらけのマットレスが何枚かあるだけの臭い汚い部屋だったけど、外が見えるし、それまでずっと独房だったので、久しぶりに日本語をペラペラ話すこともできました。なにしろ有り余る時間を、みんなでトランプしたり、シリトリしたり、拘束されているのには変わらないけれども、だいぶリラックスできました。今回その一般警察署で手続きをしている時、周りをうろちょろしている人間を見ると、私たちを監視していた警官(?)でした。私が気づき、あっ、おまええ！と叫んでも向こうは、なんだこいつ中国人か？とか言って思い出せないようでした。どついてきたり、蹴飛ばしたりということもあったし、憎むべき相手なんだけど、慣れてからはけっこうプライベートな話もしたりしていたので、怒りよりも懐かしくて、思わず笑顔で呼びかけてしまいました。後で、父に面会の時笑いながらその話をすると呆れられてしまいました。

つづく

## THE LIBERATED AREA —解放区—

### —『ザ・パスポート』関連—

読者から私の方に来た意見を紹介しておきます。考える会の皆さんは今、5月のレバノン救援団の訪日準備で、超多忙なので、私に答える分は私の方で答えておきます。

どうしても、ここは辛口批評中心の紹介になります。「よくやっている」という評価もあるというのも言っておきます。

それから、出来れば皆さん、私の方にではなく会の方に直接送るようにしてください。彼・彼女らが喜びます。肯定的にであれ否定的にであれ、意見が何もないより有る方がうれしいのです。

### 1. 『バス』リニューアル

「とても読みやすくなつた。ここまでパソコン編集するのは大変だつたと思う。私たちは切り貼りでドタバタと半日でやつてしまつが。丸ちゃんも会の人たちを余り突き上げないように」  
⇒私、何も突き上げてへんよ、ちょっと小姑してはいけ(笑)。パソコン編集は皆慣れたら楽だと思います。獄中からE-mailが出来れば、編集部も助かるやろうに。

### 2. 内容上

①『バス』81号に浴田さん、西川さんの公判予定、4/24ゆきQ集会、5月のウナディコム集会のことなどが一言もないのは非常に問題です。会の目的は帰国者の裁判の救援にあるのだから、問題意識があればピラ1枚ぐらい入れられるでしょう。そこを会の人たちは意識した方がいい。落とすようなことではないと思います。

それに5月の集会の宣伝をするなら、4月には大きく始めるべきです。内容作りも大切ですが、1にも2にも情宣。残念ながら私は行けませんが、頑張ってください」

⇒確かに81号でウナディコムの予定だけでなく、4/24のゆきQ集会の案内が出ていなかつたのは大きな落ち度だと思います。公判予定が出なかつたのは、多分、4月に予定されていなかつたことがあると思います。しかし関心のある読者にとっては無いということ自体を知りたいのだから、会の皆も今後の教訓にしてほしい

99. 4. 20 丸岡修

と思います。

予定していた原稿が締め切りまで届けられなかつたのが直接の原因のようですが、これを教訓に、執筆担当者が原稿を落としても、毎号必ず載せるものを編集部として確認し、編集長が代行になつても落ちないようにした方がいいと編集部には提案しておきます。

毎号掲載は、表紙・奥付け、帰國者裁判の公判予定、ゆきQ集会予定、会全体の予定と。

②「会の人たちが発言の場を求めるのは分かりますが、例えばクリントンの不倫と帰国者の裁判と何の関係があるのでしょうか。読者に何を読んでもらう必要があるのかを考えた方がいいと思います」

⇒会の人がクリントンの話を書いたのは、多分、米国によるスー丹などの爆撃は不倫隠しにあると現地では大きく報道されているので、その一環で載せたのだと思います(確かに余計な紹介もあります)。彼は「帰国者たち」やレバノンで拘束されている5人が中東情勢と不可分にあるのだから会自身も単に裁判の経緯に关心を持つだけでなく、JRA及び関係者たちの政治的背景も記事に取り上げるべきだ、という判断だと思います。私もそれは必要だと思います。

しかし、余り「情勢、情勢」となると、「救援」誌なのか「政治情報」誌なのか分からなくなるので、そのバランス配慮は必要でしょう。

### 3. その他

●『ザ・パスポート』という誌名や米国のパスポートを表紙にした理由を教えて下さい

⇒それは、日本赤軍が日本革命を世界の連鎖の中で発展させる目的で、闘う者同士の国際連帯を求めて(「プロレタリア国際主義」と私たちは言う)、国境を越えました。それを象徴させようと、考える会を創設した人たちは「旅券(パスポート)を表題にし、イラストに破いた各國旅券を毎号表紙に使用しました。「人民には旅券はいらない」の意味で破いているのです。1号から10数号まで世界各国のを使っていましたが、編集が忙しくなつて、米国のみになつただけです(笑)。

☆次号は、読者からの「日本赤軍批判」特集。

春はやうやう…にて、独眼竜参上。1日から保育園の助手に就職したのも束の間、流行性角結膜炎になりました。それでも視野の狭さには定評がありましたのに、現在では、目はごろごろするは、視界はぼやけるはで、仕事になりません。それよりも、同僚や天使諸君にうつしてはならじと、仕事もしばし休んでいます。読書も、洋裁もままならず、いぶせき日々。原因は、春になったと油断して、少しかぜをひいたせいらしいですから、皆さんもご注意を。

閑話休題。今回は、お気に入りのTV番組の話。トップは、「学校へ行こう」。中学生が放つ“成年の叫び”というのが、実際に初々しくて、正直で、かつユーモアに溢れているのに、好感が持てます。他愛のないことですが、全校生徒を前にして必死で叫ぶ姿に、頬もしさを覚えます。何せ、電車の中や通行中に人と目を合わせてはならないという世の中（こう、Tから注意されています。確かに、6人がけの電車の椅子の人々を観察した限り、時間帯にもよりますが、どこを見ているのか、悲しいのか、嬉しいのか、苦しいのか、腹が減っているのか、ようとも知れない苦行僧さながらの顔面が並んでいる様は、何とも言えぬあはれを誘います）、その御時世にあって、若い者が、日ごろからの胸の秘め事を声を限りに全校生徒の前で吐露するというのは、かなり勇気と茶目っ気が要ることでしょう。そして、自分を含めて全部を笑い飛ばす元気があるというのは、実に健全だと思います。いつも、教室で、家庭で、電車の中で、そうやっていて欲しいと思いました。笑顔の少ない世の中みたいですから。

次は、「熟女におまかせ」とか「怪傑熟女」とかいう番組で、こちらも世相を知るよい番組だと感心しています。家庭、人間関係の悩みを（これは、どのような社会になっても、解決が難しいだろうとは思いますが）、熟女の皆さんに聴いて頂いて、アドバイスを受けるという、まあ、人生相談番組と申せましょうか。大方のアドバイスは私も合点がいくものが多いです。しかし、この前の件は、どうしても腑におちないもの

でした。それは、自分を大切してくれる御主人、子供、安定した生活の中で、「自分は、果たしてしあわせなのだろうか？ 物足りないのはなぜだろうか？」という女性の悩み。熟女の皆さんが、こぞって、「それはね、あなた、贅沢というものですよ」という判定を下されたのです。そういわれても、本人は、「何か足りない」と感じているわけですから、問題は解決した訳ではないでしょうに思いました。端からみてしあわせかどうかというのではないはずです。また、周りをみて、再度、自分の生活や生き方を考えるというのも大切でしょし。アドバイスの仕方としては、「贅沢よ」よりも、「ともかく何かやってご覧なさいよ」の方が適切だったのではないかと感じました。それに、安定した生活を得るというのが人のしあわせの絶対十分条件なのでしょうか？ もしかしたら、その安定した生活がいつまで続くのかという不安があったのかも知れません。本人でないとわからないこと。

それから、仕事とは言え、気の毒なことをしている人が多いと思う番組も多いです。午前中にTVを見ることなどほとんどなかったのですが、最近、流行性角結膜炎を患ってから、見るチャンスがありまして、感心したものです。いわゆるゴシップ番組の多さ。ゴシップの大好きな私は、目を離すことができず、裁縫の手が止まってしまい、かたずを飲むばかり。

取材のアナウンサーの誘導尋問のうまさや、事実はどうかよりも、「火のない所に煙りはたたねえ」式の決め付けやら、ともかく、ニュースにしたてあげようとするその涙ぐましき努力に脱帽。特に、一人だけ反論しようものなら（反論とまではいかなくても、中立を保とうとしただけで）浴びる集中砲火には、合点がいきません。飯の種とは言え、大切な一生の何時間かを、こういうゴシップ作りに費やしている人の胸中は、察しても余ります。それを、かたずを飲んで、ミシンの手を、いや足を止めて見てしまう私は、やっぱり社会人1年生なのか。来月は、保育園のありさまを報告しようと考えます。

## 社会人1年生

十二回 吉村和江 一九九九年四月二〇日

# イスラエル選挙と中東「和平」の行方

99.4.25 M島

5月4日のオスロ合意によるパレスチナ最終地位交渉の期日が迫っている。各マスコミ紙上でも4月に入り、アラファト、ムバラクなど首脳の来日が頻繁に行われ、中東「和平」に紙面が割かれることが多い。5月17日にはイスラエルの選挙が行われる予定であり、今後益々ニュース性を大きくしていく「和平」問題だが、ここに焦点を当ててみました。

## 1. 日本とイスラエルの関係は強められている

先日夜9時のNHKでも現地特派員報告として取り上げられた。番組では「有力3候補が一線に並んでいる」という紹介であった。

日本とイスラエルの関係の親密さは、例えば4月21日の新聞（毎日デイリー・ニュース）を見ても分かる。この日はイスラエルが言うところの“独立記念日”であった。

BEN-YACOVは現在、駐日イスラエル大使であるが、彼はこの“独立記念日”に寄せた投稿の中で次の様に書いている。

「過去11年間に旧ソ連より80万人、3万人をエチオピアからユダヤ人移民を受け入れ、独立当時に80万人だった人口は今や600万人を越えるまでになった。（中略）ホロコーストの忌まわしい歴史をくぐり、93年にはオスロでパレスチナとの合意を結ぶに至った。（中略）1万人中、135人が科学者・技術者であり、“中東のシリコン・バレー”と呼ばれる程にまでなり、98年度の輸出の80%はハイテク製品である。Intel、Motorola、Nestle、Microsoft、Volvo、Volkswagenなどが投資している。（中略）日本との関係はイスラエルからの主要な輸出品としてダイヤモンド・化学ハイテク製品で、日本からの輸入品としては車両・機械用具・電化製品などで98年度の日本企業の投資は20社に上り、30社以上のイスラエル企業が日本に事務所を構えている」（4/21毎日デイリー・ニュースより）

大量のユダヤ人移民を受け入れることで入植地を拡大し、それを力で既成事実化することで国としての体裁を整えてきたイスラエルは今回のNATOによるユーゴ空爆時にもコソボから

アルバニア系ユダヤ人を難民として受け入れている。

イスラエルは観光産業も盛んで、日本からは98年2月に合意が為され、現在は関西新空港からベンギリオン空港（テルアビブ）にエル・アル航空が就航している。また早稲田大学はテルアビブ大学と協力関係にある。毎年、4月21日に全国5箇所で“独立記念式典”が催されている。CIA・モサドと日本の公安警察も情報交換・技術交流などあらゆる面で協力関係を強めている。

インターネットをやっている方には非常に有名で、無料ダウンロードが出来る翻訳ソフトのバビロンもイスラエル製である。

## 2. イスラエル首相選挙

巴拉ク労働党政権をバック・アップしながら再び「和平」を推し進めたいというのが米国の描くベストのシナリオだと思われるが、1月23日に突然、ネタニヤフ政権の国防大臣を解任され、リクード党を離脱し自ら中道党（THE CENTRIST PARTY）を創って首相選挙に名乗りを上げているモルデハイが今回の首相選挙の大きな鍵の一つになると見られている。ネタニヤフのリクードは宗教政党・急進右派政党などとの連立政権を辛うじて維持しており、モルデハイの立候補で、リクード党の支持基盤のかなりの部分の票（イスラエル最大部数を誇る日刊紙YEDIOT AHRONOTの集計では3分の1だという）が流れ出るのではと予測されているからだ。巴拉ク労働党政首もネタニヤフを破るために共闘をモルデハイに呼びかけている。

中道党は元テルアビブの市長ロニ・ミロ（ユダヤ・オーソドックス）が創設し、モルデハイが合流した。彼はイラクのクルド人として1944年に生まれ、6歳の時に家族と共にイスラエルに移ってきた。彼はいわゆる“セファルディン”（スペインを表すヘブライ語）であり、現在イスラエルの投票権を持つ約半数が“セファルディン”であると言われ、欧州からのユダヤ人から差別されて

きた歴史を持っている。投票権を持つイスラエル人の20%がオーソドックスであり、ミロとモルデハイのコンビネーションがネタニヤフにとって脅威に感じられるのはこうした背景がある。

米国の一派の高官やムバラク・エジプト大統領、故フセイン国王もモルデハイがアラブの思考を理解出来る指導者であり、パレスチナとの交渉もスムースに進められるのではないかと分析している。

更にイスラエルのアラブ人としては初めて首相候補に名乗りをあげたアズミ・ビシャーラに対し、アラファトが「立候補するな」(アラブ人候補の立候補は巴拉ク労働党党首への票を分けてしまうことに結びつくから)と話したとネタニヤフはラジオ・インタビューで暴露しアラファト批判を強めるなど、選挙戦は加熱している。このようにネタニヤフは選挙戦で“アラファト・カード”を使い、『保安優先の和平』を強調していく戦術のようだ。もちろんアラファト側は「イスラエルの内政へ干渉するはずがない。証拠を示せ！」と反論している。

焦点の一つに上っている南部レバノン占領政策を巡る論議が実際にイスラエル兵の死傷者が増大していることから、首相選挙とは別個にこの占領政策について論議を尽くすべきだという声も上がっており、予定されている5月17日の投票の延期も有り得ると一時は見られた。イスラエルの首相選挙は一次選挙で

50%の得票者が現れない場合、6月1日に二次投票となる。国会選挙は120議席を巡って争われる。

今回のイスラエル首相選挙のポイントは、①南部レバノン占領政策、②オスロ合意そしてワイ合意の履行問題、③中道党の動向、の3点になりそうだ。

### 3. 南部レバノン・アルヌーン村は再び占領された！

4月15日、アルヌーン村が再びイスラエル傀儡軍(南部レバノン軍・S LA)とイスラエル軍によって占領された。かつて7000人が生活していた村は現在、100名余り。S LA将校は「テロリストがこの村を拠点として出撃することを防ぐために占領する」と宣言した。レバノンは即、96年4月の“怒りの葡萄作戦”的停戦合意として設けられた停戦監視委員会及びアラブ・リーグなどにイスラエルが侵略行為を止め、即時撤退をするよう呼び掛けた。

ヒズボラ(神の党)などの抵抗闘争がそのゲリラ戦術でかなりの戦果を上げており、イスラエル軍及び傀儡軍S LA内部の士気を削ぎ、イスラエル世論にも南部レバノンの占領を止めるべきだという声が高まっている。S LA内部で3兵士がヒズボラのスパイであるとして拘束された等という報道も為され、イスラエルが大慌てでこれを否定するなどということも起きている。

## レバノン料理レシピ③ サイヤディー工編

吉村和江

読者の皆さん、ヨーグルトの団子オリーブ・オイル漬けとか、マグドウースとかやってみた方、おられますか？きっと、「うーむ！うまい！」と……なったかどうか、私知りたいです。

懲りずに、続けますと、本日は、サイヤディーエです。これは、「漁師」という意味で、漁師が、漁の後などに、船の上で即席で作ったものであろうというのが、独断専行の私の推理です。

ちなみに、70年代のレバノン漁業は大転換がありました。シャムーン一家(キリスト教右派マロン派の有力家族の一つ。カミーユは50年代に大統領をやり、息子どもは、ご多聞にもれず、親アメリカで親イスラエル。國賊一家です)というのが、なぜか南部あたりの漁業権を持っていて、これを米国企業だか、フランス企業だかに売り払ってしまったから。漁民達が猛反対して、かなりな社会抵抗運動になったものです。記憶に間違いがなければ、70年代も、レバノンでは、ダイナマイドで魚をとったりしてい

ました。魚達はダイナマイトの威力と音に脳震盪を起こして、浮きあがる訳です。

#### 4人分の材料：

- ①中型鯛 4本
- ②なす 4本
- ③カリフラワー大1
- ④ニンジン中型3本くらい
- ⑤スノーバル（松の実）少し
- ⑥ありとあらゆる香料
- ⑦米 4カップ

#### 作り方：

①米をといで、ざるにあげる。

②鯛のから揚げを作る。

ローマに入りては、ローマ風。レバノンではレバノン風。内臓をとりだし、頭をおとし、ぜいごもとつてから、横に2分します。これを、あげます。何も下味つけず。

③野菜を全部あげる（これが面倒）。

あがり易いように、薄くきって。これが終わる頃には、きっと油まけしているかも知れませんが、アラブ料理一般は、油にまけてはできませんから、がんばってください。後は、米と一緒に炊き込めば良いのですから。

④炊き込む。

揚げた鯛、野菜を深い鍋にしいて、米をいれ、水加減。実は、3月19日にやったのですが、失敗しました。まだ、一人前ではない。水

加減が難しいですから。よく鍋をふって、米がうまく収まるようにしてみてください。塩、ありとあらゆる香料を適当にいれ（少な目にした方が間違いが少ない）、スノーバルを散らして、強火で始めてください。

鍋がぐつぐつしてきたら、火を弱めて、後は、適当に、鍋の音を聞いて。チリチリと来たら、こげ始めたということ。米にしんがある方が、アラブ風。これでは困るという人は、少し水を足したら良いでしょう。味が薄かつたら、食べる時に、何か足せばよいし、濃かつたら、これも心配無用。ラバン（ヨーグルト）をかけて食べると、塩味が薄れますから。実際に、簡単なのです。ただ、レバノンの名譽の為に言いますと、彼らは、うまく炊きます。そのうまさに到着するには、何十年もの精進が土台にあるのですね。

「ウナディコム勝手連—サイヤディーエを食べよう」では、鯛の代わりに甘塩たらでやりました。どうも、味が薄いかもしれないと思ったので、えのき茸も入れたりして。でも、和風になってしまって……レバノン料理レシピの作者の資格が疑われることになったようです。めげないけど。私が、初めてサイヤディーエをご馳走になった時の感動を蘇らす日まで、これからも努力します。

（編集係註：お味のほどは本誌前号「ウナディコム・サンヤディーの晩餐」を参照ください。また、筆者の廃人戦号さんを廃人飢号と誤って表示していました。お詫びし、訂正申し上げます）

## 投稿 5・30 リッダ闘争27年を前にし近頃思うこと 龍月 遙

5・30……「ごーさんまる」と聞いて何を思い浮かべるだろう。本誌の読者以外に「ごーさんまるって知ってる！」と聞けば馬券の「5-3がいける=○」か、築地か兜町の立ち会いの現場の何かの「符号」ぐらいにしか思わないであろう。たしかに昔は「よんにっぽー」「きゅうさんまる」「じゅってんにいいち」と「業界用語」で意味通じ、意味の同じ会う者どうしが同じ隊伍をいつまで組み合えるかを語り合ったのはいつごろまでだろう。

記念日闘争と揶揄されながらもある時は

機動隊の方が多く、機動隊が整列して歩いていると思われても「継続こそが力」なりとばかり力んでいたのもいつのまにか雲散霧消し、記念日闘争は会場外の私服の方が多い屋内集会へと形を変え、さらに流転し一部関係者のみが同窓会的に場末の酒場で飲み明かしているということが多いというが………？

「リッダ闘争」から27年……今年は「ウナディコム」集会が開催されるという。

\*「ウナディコム」の歌詞を読むとな

く村田英雄の「みんなの衆」に似ている？？？

今手許に「日本における国際<連帯>運動」副題—パレスチナ<連帯>運動—というタイトルの論文がある。

筆者は<連帯>を「対象との関わり方にについて絶対的な倫理意識を基盤とした自己規定を常に求める」と定義したうえで、パレスチナ連帯運動は「1、誰の、何に対する連帯だったのか」と問い合わせ、「2、対象を美化・聖別化することの問題」を指摘し、「3、「試金石」しての湾岸戦争」のなかでパレスチナ連帯運動に多くの役割を担ったジャーナリスト、映画人を「戦争大好き人間」とし、「自国の戦争協力に反対できない<連帯>とは何だろう。そんなものは<連帯>の名を借りた、戦争マニアの嗜好を満足させるためのお遊びでしかない」である」と断罪し、「4、今こそ運動経験の共有化を」と主張する最近では稀に見る強烈かつ主観的な論文である。

この論文で主張されている<連帯>の概念は筆者の個人的見識なのか、何かのテーマなのかは不明であるが、連帯運動総体に修行僧のような高貴な倫理意識を求めるのは運動の領域と対象を狭め、状況の変化のなかで創意・工夫が求められる運動主体の発展を阻害することはあっても、運動領域と対象の拡がりをもつことはできないであろう。

連帯運動と言えどもその端緒は「自由で伸縮可能なく趣味><興味><関心>という、関わる人間の「都合」に添った関係」で何ら問題なく。運動に関わる上の最低限の対外的・対人的倫理観を有していれば自由闊達に関わることができるのが魅力あり、発展の可能性がある連帯運動であろう。

何の意図があるのかは知らぬが筆者が名前、団体名をあげ、断罪した人々、団体は確かに筆者の主張する「絶対的な倫理意識を基盤とした自己規定」は欠落していたかもしれない。しかしかの人々、団体は間違いなく一時期そして今日もパレスチナ連帯運動に足跡を残している事実は間違いなく、運動に著し

く害毒をまき散らしたり「自国の戦争協力」に賛成した人はいないはずである。

物言わぬは”賛成”と同義であるとすればニュアンスは異なるが…………。

筆者の指摘するようにパレスチナ連帯運動を始めとする国際連帯運動は「思い入れ」「美化」は確かにある。

しかし人を”思いやる”心なくして連帯運動は成り立つであろうか？人や地域や課題に「思い入れ」することなく連帯運動は成り立つであろうか？確かにこれだけでは決定的に不十分であることは言うまでもないことである。

そして最も問題なのは筆者も指摘するように「自分たちの担ってきた運動を振り返ってその運動体験を次の世代に伝えよう」という意欲」や「自分たちが実際に何をやっていたのか」という具体的な運動経験に即し、かつその運動経験を「思想化」するという姿勢」が希薄であったのも事実である。

しかし、多くの限界を有していたにせよ過去そして現在の運動を担ってきた人々、団体を厳しく断罪することからは何も始まるまい。広島、長崎の被爆者からの、沖縄戦の、従軍慰安婦からの、社会運動を担った人々からの”聞き取り”的を上げるまでもなく”体験・経験を伝える”というのは伝える・伝えられる側双方の信頼関係を含めた緊張ある相互の関係性によって成り立つのである。運動の担い手全てが筆者のような「絶対的な倫理意識」を持つ聖人君子のみによって構成されることはありえないのだから…………。

\*「よんにっぽー」とは4・28 沖縄デー

\*「きゅうさんまる」とは9・30 大奪還闘争

\*「じゅってんにいち」とは10・21 国際反戦デー

\*「日本における国際<連帯>運動」は社会評論社刊の「20世紀の政治思想と社会運動」、フォーラム90's研究委員会・編著の一論文。筆者は田浪亜央江氏。

文中「1～4」は論文中の小見出し「」は論文からの部分引用。



# 読者へのミニレター

99.4.21

丸岡 修

皆さん、こんにちは！ 花見はいかがでした？  
もう5月、風満る候、元気に行きましょう！  
私の病院は、二トロ(冠動脈拡張剤)の効用か、  
3月下旬から良好です。見舞いのお便りなどい  
たに恐縮至極。危険レベルでは全くないので  
ご心配なく。無理はできまいだけで大丈夫です。  
人生100年のつもりやし。

—メ —メ —メ

1. 東京都知事。石原慎太郎当選で最悪。結果  
の動向を見ると、浮動票化している旧来の  
自民党支持者層の動向に、ここ10年の選挙は左  
右されています。自民党離反票が89年は社会  
党(参院選)、93年は日本新党(衆院選)や95  
年の東京都知事・青島などに流れました(共産  
党はこの層に目をつけた展開をしています)。そ  
して今回は石原に。

今回の結果に刀両側面があります。悲観的に  
みれば、投票者の3割(有権者の18%)が、石  
原の右翼性を向かず、「強い 指導力」を以  
て求めており、こよりアシズムの台頭をもたら  
します。他方楽觀的に見れば、都市博中止し  
及しなかつて青島率男への幻滅から石原に流れ  
たものであり、自民党に代わる新しい政治を人々  
が受け継げていると言えます。革新派に力な  
くて反骨が發揚する機会を与えててしまったと言  
えるでしょう。

悲観的情勢に對する、革新派を自重させる努  
力を避けましょう。

◎

◎

◎

2. NATOはユーゴに対する懲罰をやめろ！

NATOの空爆は、アルバニア系住民の保護  
とは名ばかりでモハ侵略戦争ではないか！  
なぜ民間目標を爆撃するのか、民間人を41%す  
べて500人以上殺害して取扱いの「民主  
主義」の化けの皮がはがいた。

NATOは直ちに空爆をやめろ！

ユーゴも被爆民の後主義に陥るな！

☺ (^\_^) ☺

3. ティー・タイム



「だんご三兄弟」著者・作者不詳

—某コンツェルン若手社員らに伝わるもの—

「談合三兄弟」

その  
まんまと！

事前調整談合 だんごう  
ルール違反だん合 だんごう  
しかしやりたい談合 だんごう  
談合さんぎょううたい

こんなかい指名 とうじめ  
次に指名は ひたち  
それどこじゃない みつびし  
だんごうさんぎょううたい

りえきのさない とうじめ  
さきのみえないとしたら  
グループあぶないみつびし みつびし

だんごうさんぎょううたい  
こんど入れるときも

ねがいはうってあひじねだん  
でくねばこんどはりえきりつ

たくさんついに公私事業 だんごう

あるひすううだいげんか けんか  
ねだんのことでけんか けんか  
りえきのさないねだん ねだん  
でも すぐにはみづみづ

きょうは死ぬでいるね ひるね  
さんにんぞろってひるね ひるね  
うっかりしてたら年暮末  
おかくなりました

けいきよくても談合 だんごう  
めろくな、でも談合 だんごう  
日本の伝統談合 だんごう  
だんごうさんぎょううたい だんごう  
談合 だんごう 談合 だんごう  
だんごうさんぎょううたい  
だんごうさんぎょううたい  
だんごうさんぎょううたい だんごー

## 4・24 ゆきQ主催 SAI★KA! くらいまっくす 獄中からのアピール

4月24日早稲田の日本キリスト教会館にてゆきQ主催の「SAI★KA! くらいまっくす—Tシャツ訴訟の仲間を招いて—」が行われた。P6「解放区」のとおり、前号の本誌にて集会案内すべきところ、ドタバタしていて紹介しそこねてしまった。まことにもって申し訳ございません。遅ればせながら、その集会に寄せられた、浴田由紀子さんと丸岡修さんのメッセージを紹介する。この集会では、福岡でTシャツ訴訟を本人訴訟で闘いぬいている原告を招き、獄中との交通権の獲得についてお話をいただいている。

「再会」そのものは、浴田由紀子さんの公判に東アジア反日武装戦線の大通寺将司が出廷中であり、そのあと、益永利明さんの出廷が予定されている。

当日は雨の中にもかかわらず60名前後の参加者を迎える、「再会」の状況、浴田公判の今後などについて、貴重な意見交換の場となった。

また、ウナディコム主催の第1回連続講座も、同日同じ敷地内で行なわれた。講師に鶴飼哲さんを招き、「パレスチナ—外部からの視点」と題し、ジャン・ジュネを中心に、アラブ社会、日本赤軍などについて興味深いお話をしていただいた。こちらは、改めて紹介する予定である。

集会後、新入生歓迎で賑わう早稲田で、飲む場所の取り合いになったことは言うまでもない。

### 浴田由紀子さん

こんにちは！ 花の季節に、不況と反動化の嵐にもまれて超多忙な中を“SAIKA! くらいまっくす”集会に参加してくださいました皆様に、獄中から感謝と連帯の挨拶を送ります。

弁護団やゆきQ、仲間達の奮闘にも関わらず、大通寺将司同志、益永利明同志の証人尋問は、完全非公開・密室裁判として強行されてしまいました。2人から自分達が担った闘いの真実と想いを人々の前で証言する機会を奪ってしまった事は、とても残念で、申し訳ないです。司法を体制内化し、死刑制度を存置したい法務省・裁判所は一体となって、25年も前の「左翼過激派事件」、証人は「確定死刑囚」というこの裁判の「特徴」を最大限悪用しました。なめられるわけにはいかないし、黙って認めるわけにもいきません。幅広い連携と共闘の中で必ず反撃していきたいものです。

裁判所がこうも堂々と憲法破りをやってくれたので、浴田裁判は、すでに「イヤで

も上告審まで闘わざるをえない」構造になりました。長丁場になりますが付き合ってください。「最後に泣くのは検事と裁判所」となるでしょう。そうしましょう。

「被告はもっとしっかりせんかい！」という激励も届いています。自分自身と闘いの正義を守るために、再審の種を見つけ育てるために、そして、新しい時代への力を養い合うために、微力ですが、裁判を通してやれることは全部やりたいという思いでいます。弁護団とゆきQに「オンブにダッコ」を少しでも克服できるように努力します。どうかこれからも知恵と力を貸してください。

2月10日、将司同志と私は再会しました！ 21年と5ヶ月ぶりです。秋には利明同志にも会えます。とにかくうれしいです。安心もしました。将司君は元気で、キゼンとした白髪のオジサンに「成長」しています。彼に会った瞬間、同志達や

仲間達、家族会や友人……、この年月の中で出会った多くの人々の顔が浮かんできて、この再会が、これまでみんなに、本当に多くの人々に支えられ、はげまされ、共に生き、闘い続けてくることの出来た結果なのだということをしっかりとと思い起こさせてくれました。みんな、本当にありがとうございます！

私達は今、みんなの分まで再会し、出直し、裁判での「勝ち」を固め、さらにこれから共に行き闘う礎を固めようとしています。そうして、このささやかな「再会」を、必ずみんなして、堂々の再会と、新しい出会いへの第1歩としうるよう、あらゆる可能な闘いをおしすすめたいと

はりきっています。

闘いは続きます。さらなる再会と共に！

今日はありがとう。楽しい、豊かな時をもって下さい。

ゆき子

P.S.

最後になりましたが、来月には、遠くへ転居してしまうゆきQのスタッフに、いっぱいのごくろう様と、ありがとうを。そして、なーに遠くへつづたって、いつしょだ。我々はつながり合って……世界を広げて共に生きる！

そして、どうぞゆきQの窮状克服と強化にも知恵と力を貸して下さい。

## 99. 4. 24 SAIKA！くらいまっくす！への ごあいさつ

丸岡修さん

皆さん、こんにちは！

福岡からも、お疲れ様です。

プログラムでは、獄中からのアピールの後に弁護団のお話があるようなので短くしておきます。長いと読んでくれへんやろし。というのは口実に、実は書く時間がのうなってもうた……。

ほな早速。

**1** 今回の非公開裁判の問題は、2つあると言えるでしょう。第1に、一般刑事事件であっても裁判は公開でなければなりませんが、今回はわざわざ憲法が絶対的公開裁判の一つとして示している「政治犯罪」であるのに裁判所が「確定死刑囚の地位の特殊性」なる特殊な屁理屈でもって何の躊躇もなく完全非公開にしていることです。第2に、死刑確定者の隔離を絶対的なものとするのは、裁判の公開原則を踏みにじるだけでなく、

死刑確定者の基本的人権をも完全否定することであり、また刑の執行以前に人格としての抹殺を長期間に亘って行うことでもあります。特に後者は、拷問的残虐刑と言えるでしょう。刑事訴訟法や刑法に全く規定されていない刑が執行されていると言えるでしょう。

**2** これほどの重大な問題が沿田裁判の非公開決定に孕まれているのに、世間では全くと言っていいほど問題にされていません。マスコミを初めとするこの日本社会の鈍感さは、極めて異常であり危険です。

マスコミはオウム真理教への破防法適用問題では、行政側の審理の公開を求めたのに、ニュース性に欠けるとして沿田裁判の公開の必要性についてはほとんど触れていません。報道の自由と「国民」の知る権利までもが侵害されているのに、

です。マスコミの関心は、「死刑確定者が証人に採用された」ということだけです。確定者が証人にされてもそれは当然のことなのに、それにマスコミが驚くこと自体が驚くべきことです。

**3** そんな状況であるのにも関わらず、裁判自体へのマスコミの関心を引き寄せ続けている辻田弁護団と当ゆきQの奮戦は驚異的であります。このことも特記しておきます。

## 4 国内外の情勢は実にひどいものがあります。

ファシストと呼んでも差し支えない石原慎太郎が「強い指導力が求められる」と都知事になるし、ありはしない朝鮮民主主義人民共和国の「脅威」を演出して「周辺事態」関連法案を成立させようとする日本。有事法制化も進められています。そして、国内治安弾圧強化としての「組織的犯罪対策」法案の策動。これらの政治動向と辻田裁判非公開決定などに見られる司法の反動化は不可分です。

世界では、米国の世界一元支配の中で米国を中心にしていわゆる「先進」資本主義国（つまり帝国主義）による連中の価値観の押しつけがますますひどくなっています。新自由主義的な「先進」資本主義諸国にとってのみ有利な世界貿易機構

(WTO) の枠組みや、イラクなどに対する経済制裁、そしてユーゴスラヴィアのみを悪者視しアルバニア系住民保護を名目としたユーゴに対する無茶苦茶な戦争。野蛮極まりないアングロサクソンの帝国主義者米英両国を中心としたNATO諸国の空爆は、民間施設を公然と目標にし、すでに500名以上の民間人を殺害しています。セルビア共和国による誤った国内少数民族への弾圧があるにしても、それはNATOによるユーゴ支配の口実になっているだけです。NATOによる一方的圧力と空爆が解決を困難にしたのです。

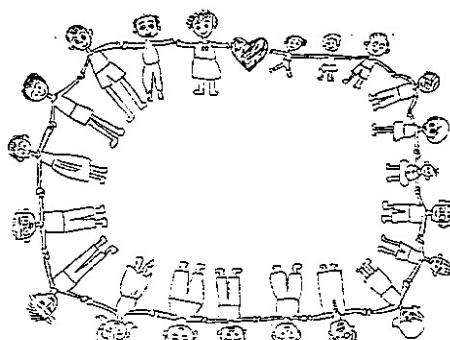
はらわたが煮えくり返る様々な事が、この世紀末を特徴づけています。このような暗澹たる世の中であるからこそ、私たち自身は目の前の困難に挫けず、根気強く、未来を信じて闘い続けることが何よりも大切だと思います。21世紀を人民の革命の時代に！

## 5

●裁判所は辻田裁判を直ちに公開裁判にせよ！

●法務省は死刑確定者の接見交通権を認めよ！（本来は受刑者も認められるべきだ）

●共に頑張りましょう！



◎公判予定

浴田由紀子さん

5/10、5/24、6/15、7/7、7/27

いずれも午前10時から東京拘置所にて

西川純さん

6月16日 13:15～ 東京地裁にて

デオ上映、獄中からのメッセージ、共同アピールなど

主催：ウナディコム

問い合わせ：ウナディコム・事務局

◎集会予定

帰国者の裁判を考える会・定例会

日時：5月7日（金）午後7～9時

場所：日本キリスト教会館4階・小会議室（東西線・早稲田駅下車徒歩5分／山手線高田馬場駅下車徒歩15分）

**ウナディコム（レバノン代表団を日本に招く会）**

**第6回実行委員会**

日時：5月10日（月）午後7～9時

場所：日本キリスト教会館4階・小会議室（東西線・早稲田駅下車徒歩5分／山手線高田馬場駅下車徒歩15分）

問い合わせ：ウナディコム・事務局

**第7回実行委員会**

日時：5月21日（金）午後7～9時

場所：日本キリスト教会館4階・小会議室

**2001年連帯の旅・レバノンと日本の新しい交流の輪を広げよう！**

**『5.29前夜祭 よみがえれ赤P、走れJRA』**

日時：5月29日（土）

18:30開場 19:30開始

場所：新宿歌舞伎町 ロフト・プラスワン

内容：若松孝二監督（一日店長）、松田政男氏他・特別ゲスト予定！

上映「赤軍 - P F L P・世界革命戦争宣言」  
(1971年若松プロ制作)

問い合わせ：ウナディコム・事務局

**『5.30「ベイルートの5人』国際救援集会』**

日時：5月30日（日）

13:30開場、14:00開始～16:00

場所：代々木八幡区民会館・集会ホール

資料代：500円

内容：「強制送還」と国際法・リッダ闘争と日本の刑法、中東情勢（「和平」問題と3月7日までの攻防）、現地報告、絵画のスライド・ビ

会計報告 (99年4月22日現在 3/24~4/22迄)	
<b>収入</b>	
カンパ	¥ 8.000
会費	¥ 12.000
計	¥ 20.000
<b>支出</b>	
送料・切手代	¥ 12.380
レバノン差入れ費用	¥ 6.457
計	¥ 21.796
繰越金	¥ 227.811
収入	¥ 20.000
支出	¥ 21.796
現在所持金	¥ 226.015
借入金	¥ -2.240.000
必要緊急カンパ（レバノン種土費用）	¥ -3.000.000
サ・パスポート印刷代未納分	¥ -312.203

「**カンパのお願い**」  
上記のとおり、ザ・パスポート印刷代の未納分がたまっています、少しつづつ支払っています。救援会、機関誌継続のためにも皆さん協力してください！よろしくお願ひします。

★後記

フーッ、やっと終わった。さて、ビールだ。